



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 平成24年06月04日 第565号「週刊五十嵐レポート」

アジアシフトを加速、Jリーグ

6月3日(日)、ネットの産経ニュースに「【ビジネスの裏側】アジアシフトを加速、Jリーグ20年目の戦略」という記事。

「サッカーJリーグのテレビ放映が6月からタイの地上波で始まる。同国のクラブと提携するJクラブも出現し、各クラブの助っ人選手の主流もブラジル人から韓国人に移りつつある。20年目のシーズンを迎えたJリーグの『アジアシフト』が加速している。

Jリーグは今年2月にタイ・プレミアリーグとパートナーシップ協定を締結。6月からの地上波テレビ放映では毎節1試合を録画放送する。放映権は当面見込めないが今年中にインドネシア、ベトナム、マレーシアでも放送を始めたい意向。Jリーグ担当者は『まだ種まきの段階だが、アジアに露出を高めることが大事』と意気込む。

関西の2クラブもタイ進出に乗り出した。ヴィッセル神戸はタイのチョンブリFCと業務提携。親会社のヤンマーがタイに工場を持つセレッソ大阪は、同国のグラスFCと協定を結んだ。オフにタイで短期合宿を行うことや出場機会の少ない若手を期限付き移籍させることなど検討。

助っ人は韓国人。クラブ側にとってブラジル人より格安なのは利点。平成16年に全体で7人しかいなかった韓国人は今年は約6倍の41人。最多のブラジル人50人で年々その差は縮まっている。

アルビレックス新潟は、平成16年からシンガポールのプロリーグに参戦し、若手や戦力外通告を受けた選手の受け皿の役割を果たしたアルビレックス新潟シンガポールが欧州まで活動を広げる」

Jリーグでは円高、ウォン安ということもあり、韓国選手が重宝されている。日本企業同様にアジア進出によりJリーグを広め、人材の交流を果たす。まだまだ先行投資だが、今やらないとまた他国にやられてしまう。

ちょっと
気になる出来事

平成24年6月3日(日)日経新聞の読書欄「活字の海で」。「企業が出す料理本は今やひとつのジャンルとして書店の生活コーナーにすっかり定着した。火付け役となった健康計測機器メーカータニタの『体脂肪計タニタの社員食堂』(大和書房)は続編も合わせて480万部を超えるベストセラーとなった。

最近是有名食品メーカーの食材や調味料を前面に出したものが目立っている。5月下旬に出したミツカン監修『ミツカン社員のお酢レシピ』。キッコーマン飲料監修『ヘルシー!豆乳レシピ』(ワニブックス)。タカノフーズ監修『おかめちゃんの栄養たっぷり納豆レシピ』(ワニブックス)。カルピス監修『カルピス社員のとっておきレシピ』。食品メーカーのレシピ本はまさに刊行ラッシュの状況。

背景には食品業界の環境変化がある。外食需要が低迷で、食品メーカーは業務用食材の販売が苦戦。震災後は家庭で食事をとる傾向が強まった。食品メーカーがレシピ本の刊行に積極的なのは、消費者の調理機会をさらに増やし、家庭用食材の販売につなげたいとの思いがある」

レシピ本を出している食品メーカーはその商品で業界一番。やっぱり一番。



一口メモ
成功の秘訣

行動する(3)

「私は」ではなく「われわれ」を考える

もう一つ身につけるべき習慣が、「私は」といわずに、「われわれ」と考え、「われわれ」ということである。

最終責任は自らにあることを知る。最終責任とは、誰にも分担できず、誰にも委譲できないものである。トップが権威を持つのは、自らのニーズと機会ではなく、組織のニーズと機会を考えるからである。簡単なことのように聞こえるがそうではない。厳格に守らなければならない。

もう一つ(習慣に)おまけを加えたい。あまりに重要なことなので、原則に格上げしたいぐらいである「聞け、話すな」である。

われわれは、生まれつきの才能に頼るわけにはいかない。成果をあげることは習慣である。

P.F.ドラッカー著「経営者の条件」(ダイヤモンド社)

週刊五十嵐レポート 毎週月曜日発行 月刊五十嵐レポートダイジェスト

町コンランチエスター経営戦略塾「会社成功塾」 毎週日曜日 午前10時~12時。

町コン・ランチエスター経営戦略セミナー 毎月東京開催

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

03-3659-7703 Fax03-3659-7077 tigaras@attglobal.net

